

# かみさと



学校教育目標  
豊かな心もち  
他のために行動できる子  
やさしく かしく  
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ  
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

令和3年10月1日(金) 10月号

TEL048-794-2316

## 学ぶ子どもたちの姿は私たち大人の心も動かします

校長 梶山 崇

8月27日から9月30日まで、さいたま市の市立学校では、学校の通常授業とオンライン授業を並行して行いました。学校で学ぶ子どもたちも家庭で(オンラインで)学ぶ子どもたちも一生懸命授業に取り組んでくれました。学校で学ぶ子どもたちの様子は教室での授業の様子から分かりましたし、家庭での子どもたちがオンラインで学ぶ様子は教員から話を聞いたり、私は管理者として「Teams」の動作確認をする必要もあるので、毎日「Teams」の画面上で各クラスの子どもの様子を見させてもらったりしました。

どの子の表情からもしっかりと先生の話の聞いている様子が伺えました。オンラインで学ぶ児童がノートに書いている様子はなかなか分からなかったのですが、子どもの目を見れば一生懸命さは伝わってきます。教室でもオンラインでも子どもたちが一生懸命学んでくれることは、ひとえに保護者のみなさまの厚いご支援がないとなかなかできません。日頃から、子どもたちに目をかけ手をかけてくださったことと感謝しております。画面上の子どもたちはマイクをオフにしていたため、声は聞こえませんでした。教員からの声は聞き取れるため、ジェスチャーで答えたり、身振り手振りで答えたりしていたと教員から聞きました。また、オンライン授業を受けている子どもたちに画面上で意見を聞いた学級もありました。

実はこのオンライン授業の実施に当たっては私たち教職員にとっても収穫がありました。1学期からタブレット端末を使用する研修には何回も取り組んでいきましたが、ミライシードを使用する研修が中心で、例えば「オクリンク」を使って、インターネットから見つけた写真をつなげてプレゼンテーションを行ったり、教師が送ったリンク先から動画を見たり、「ムーブノート」を使って、互いに問題を送り合ったりしました。

今回のオンライン授業については多くの教員が初挑戦でしたが、ICTスキルの得意な教員がリーダーシップを取り、全教員にスキルを広めていきました。教員間では年齢関係なく教え合い、一人ひとりの教員がICTのスキルを高めることができました。学校だよりにより自校の教員をよく書くことは抵抗がある部分もありますが、教員のがんばりについても書かせていただきました。同時にオンライン授業について、回線の環境、学校側でさらに研修に取り組むべきところ、保護者側・子どもたちにお願するところ等課題も明らかになりました。課題解決ができるようさいたま市教育委員会から情報提供を受けながら今後も進めていきたいと思っております。

その他、学校での子どもたちは、マスク着用での諸活動、9月上旬の熱中症防止や天候不順のための外遊びの制限、給食での黙食等制約のある学校生活でしたが、がんばってくれました。特に給食については私から始業式の話の中で、黙食をお願いしました。子どもたちは、私が給食時にいつ見に行っても黙食を徹底してくれました。子どもたちの感染防止に対する意識の高さを感じました。会話を楽しみながら、食事できる日を待ちつつ、子どもたちが笑顔で学校生活を送れるよう今後も教職員一丸となって取り組みます。今月も本校の教育にご支援をお願いいたします。